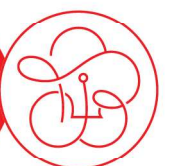


ご縁をつむいで仙台をつくる



企業版ふるさと納税の
ごあんない

事業特集号
Vol.4





仙台市

仙台市は1600年に伊達政宗公が居城を定めて以来、
雄藩の城下町として栄え、
明治22(1889)年の市政施行後
100年の節目である平成元年(1989)年に
東北で初めての政令指定都市となりました。

SENDAI



杜の都・仙台

仙台市は人口109万人を有し、東北地方の政治と経済の中心地です。大都市でありながら、自然と調和した「杜の都」として知られています。市内を流れる広瀬川、そしてケヤキ並木といった美しい自然があります。市内中心部も緑にあふれ、木々が生い茂る通りや公園がたくさんあります。



学都・仙台

大学をはじめとする教育機関が集積しており、多くの若者がこの地に集い、学ぶ「学都」です。3GeV高輝度放射光施設NanoTerasuの運用開始や、東北大学が国内初の「国際卓越研究大学」に認定されるなど、高度な研究開発環境を有する都市として世界から注目を集めています。

市内高等教育機関等の学生数

■ 大学・大学院 / 11校	49,701人
■ 短期大学 / 4校	2,225人
■ 各種学校 / 10校	1,458人
■ 専修学校 / 58校	15,745人
■ 高等専門学校 / 1校	1,580人



出典:仙台市統計書(令和6年版)

防災環境都市・仙台

豊かな自然と都市機能が調和した「杜の都」という都市の個性に、東日本大震災の経験と教訓により高めてきた防災性を織り込んだ「防災環境都市づくり」を進めています。国際的な防災の指針「仙台防災枠組」の採択都市でもあり、仙台市における復興や防災の取り組みは、国際的にも高く評価されています。



PICK UP



▶ 青葉山エリアのまちづくり

文化芸術の総合拠点と災害文化の創造拠点を兼ね備えた “杜の都の新たなシンボル”の整備

これまでにない
仙台の強みや魅力を
相乗的に生み出す複合施設へ



未来に向け、みんなの力で
暮らしやまちを豊かに

Instagram



X



施設外観イメージ 作成：(株)藤本社建築設計事務所

東日本大震災からの復興とさらなる発展のメッセージを打ち出し、仙台と世界をつなぐ新たな文化施設を整備

青葉山エリアは、歴史、文化、観光、学術、自然などの様々な資源に恵まれた、本市のアイデンティティを象徴的に示す場所です。本市では、伝統文化と最新テクノロジーを織り交ぜた体験型プログラムの創出や国内外への観光プロモーションなど、交流人口の拡大を見据えたエリアの魅力向上に取り組んでいます。

この青葉山エリアの個性・魅力をさらに高めるとともに、東日本大震災からの復興を象徴する存在として、令和13年度中の開館を目指して整備を進めているのが、音楽ホールと中心部震災メモリアル拠点の複合施設です。

「仙台の文化芸術の総合拠点」 としての音楽ホール

音楽ホールは、生の音の響きを重視した2,000席規模の大ホールを備えます。多様なジャンルに対応する「劇場形式」から、舞台の周りを客席が取り囲む「サラウンド型コンサートホール形式」に転換可能とする計画で、この規模のホールとしては国内初の取り組みとなります。

仙台フィルハーモニー管弦楽団の本拠地や仙台国際音楽コンクールの主会場として「楽都仙台」をさらに発展させるとともに、誰にでも開かれ、あらゆる人が文化芸術を体験できる拠点となることを目指します。

「防災環境都市・仙台」ならではの 災害文化の創造拠点

中心部震災メモリアル拠点は、災害を乗り越えるための知恵や術が定着した新たな生活スタイルを呼びかける「災害文化の創造拠点」を目指しています。

この拠点で、多様な主体と連携しながら事業を展開し、市民一人ひとりに災害から命や財産を守る意識と行動、被災者に寄り添うふるまいが身に付くこと、まちのシステムやルールに災害から住民を守る術が組み込まれた社会を実現していきます。

令和6年度、施設の基本設計者に
(株)藤本社建築設計事務所を選定しました。



広場エリアイメージ 作成：(株)藤本社建築設計事務所



仙台国際音楽コンクール



中心部震災メモリアル拠点の活動イメージ



▶ 開かれた実証フィールドの提供

学都・仙台の「知の力」を生かした 規制改革・先端的サービス創出に向けた挑戦



産学官金言連携による
各種プロジェクトに
関する情報を発信
「仙台特区WEBサイト」

多様な事業者との連携促進に向けて、
お知らせを発信しています。



仙台特区



地域課題の解決や持続可能な社会の実現を目指し、民間企業や大学をはじめとする多彩な事業者との連携を促進

世界で一番ビジネスしやすい 環境づくりに向けて

国家戦略特区に指定されている仙台市は、世界で一番ビジネスしやすい環境をつくることを目的として、様々な分野の規制改革に積極的にチャレンジしています。

例えば医療分野では、診療現場で直面する課題を洗い出し、オンライン診療に産学官連携で取り組み、看護師が搭乗する診療カーを用いた診療モデルを確立しました。運用時の課題等も踏まえ、引き続き、国に規制改革を提案し、質の高い診療環境の実現を目指すとともに、人口減少・医師偏在といった東北の課題解決に向けた取り組みを進めます。



自治体・公共Week2024におけるオンライン診療の実演

産学官金言連携による 先端的サービスの創出に向けて

産学官金言の多様な事業者が集結する「仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会」では、健康や脱炭素などの幅広いテーマに関する先端的サービスの創出と、それに伴う規制改革の提案に取り組んでおり、OECDでの講演や国内イベントでの登壇など、様々な場面でこれらの取り組みに注目いただいています。

今後は、東北大学の国際卓越研究大学の認定も契機として、国際的に開かれた「ダイバーシティまちづくり」に対応する様々な先端的サービスを生み出しながら、「包摂的成長」の実現を目指します。



OECD会合での講演の様子

行政によるサポートを通じた 実証実験の促進

公民連携窓口「クロス・センダイ・ラボ」では、地域課題の解決や先端サービスの創出に向けた民間企業等による実証実験の円滑な実施を支援しています。

令和6年度は、AIカメラを市立中学校5校と市内児童館6館に設置し、暑熱対策リスク判定の実証実験を実施。その結果、熱中症発生ゼロ（エアコン導入との相乗効果）・児童の健康意識向上・職員の安全管理支援の成果が確認できました。

実証フィールドの提供を通じたイノベーション創出に挑戦し、「世界から選ばれるまち」の実現を目指します。



熱中症リスク判定AIカメラの実証

PICK UP



▶ こども・子育てを応援する取り組みの推進

このまちの未来を担う、
こどもと若者が幸せに生きられるまちの実現を目指して



ジャッキーは仙台での子育てを
応援しています

子育てが楽しいまち・仙台

くまのがっこう ©BN

子育て情報サイト せんだいのびすくナビ

仙台で子育てをされている皆さまに、
特にお知らせしたい情報を
発信しています。

杜っ子のびすくプレゼント

仙台市で生まれ育つお子さんの
誕生をお祝いし、
3万円相当のカatalogギフトをお送りします。



仙台市×
「くまのがっこう」



せんだい
のびすくナビ



杜っ子のびすく
プレゼント



子育ての楽しさや幸せ、地域のこどもたちの成長の喜びを実感できるまちづくり

まち全体でこども・子育てを応援する「子育てが楽しいまち・仙台」の実現へ。令和5年度に初開催したイベントに続き、令和6年度は「みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム」を令和7年1月に合同開催。当日は、数多くの皆様にご来場いただきました。

「遊んで、学んで、未来に生かす。」をテーマに、こども向けお楽しみコンテンツや、子育て・健康に関するセミナー等を取り揃え、世代間の交流や地域社会における子育てや健康への気運醸成につながるイベントとなりました。



みんなで子育てフェスタ&健康フォーラム



自然環境を生かしたプレーパーク

仙台こども財団との連携

令和5年11月に「仙台こども財団」を設立。財団では「まち全体がこども・子育て家庭にわたって、すべてのこどもたちが健やかに育つ社会」をビジョンに掲げ、こどもたちが意見交換や対話を重ねながら、企画・立案し実践する「こども・若者会議」や、こどもの居場所を増やす取り組みなどを進めています。「意見を言えるようになった」「自信がついた」等の声が寄せられており、今後も市と財団が連携し、こどもたちの主体性やチャレンジ精神を高めていきます。



こども・若者会議

仙台こども財団



PICK UP



▶「Full Digitalの市役所」の実現に向けた取り組み

デジタル技術を浸透させた“ひと”中心の市役所へ

時間や空間の制約から解放する柔軟な行政サービスの提供

仙台市DX
推進計画
2024-2026

DX

DATA
SENDAI
PLATFORM

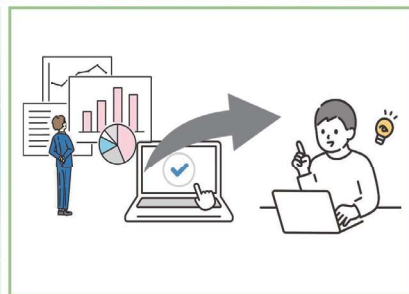


「SENDAIポータル」

より快適に暮らせるまちづくりを
目指すため、一人ひとりに寄り添った
お知らせを発信しています。



SENDAI
ポータル



一人ひとりに「近く」寄り添い、「ひと」にしかできない「濃く」ふれあうサービスをデジタル化で実現

「ひと」を中心に据え、デジタル化によって利便性を高めながら、暮らしやすさの実現や新たな価値の創出につなげる「Full Digitalの市役所」。

令和8年度まで「集中改革期間」とし、市民と市役所との接点の変革、市役所内部のDXを推進。令和12年度までを「高度化期間」とし、多分野にわたるサービスの変革を実行します。

令和6年4月より、利用者意見を取り入れるため「仙台市デジタル改善目安箱サジェストセンダイ」を開設。市役所の不便をデジタルで改善していきます。

データを活用した新しいまちづくり

産官学がデータとアイデアを持ち寄り、スマートシティの実現と市民サービスの向上を目指す「DATA SENDAIプラットフォーム」。

このプラットフォームで提供するデータ連携基盤サービスを活用したソリューションやサービス・アプリの開発実証に最前線で取り組むプロジェクトを募集して実施しています。

データの活用をテーマに、新たなつながり・新たなアイデア・新たなサービスの創出を目指しています。

東北の自治体DX促進に向けた取り組み

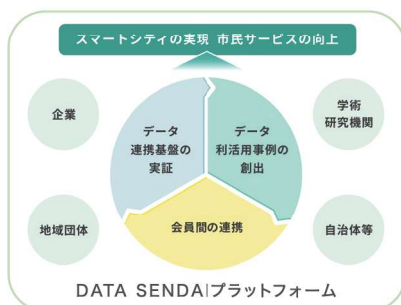
令和5年度から東北全体の自治体DXを促進することを目的として「TOHOKU DX GATEWAY」を開催。自治体と企業団体等の共同出展ブースを設置し、自治体職員の生の声が聴けることが特徴です。

令和6年度は、国のDX支援に関する基調講演や出展企業等によるステージプログラムなどを実施したほか、出展数を前年度より50件以上増やすなど、規模を大幅に拡大し、約1,800名が参加しました。

今後も東北の自治体DX促進に取り組んでいきます。



サジェストセンダイの取り組みイメージ



DATA SENDAIプラットフォーム



TOHOKU DX GATEWAY 2024 展示の様子

PICK UP



▶ ナノテラスを核とする世界最先端の研究コンプレックス形成

“巨大な顕微鏡”と研究コンプレックスから
多くのイノベーションが生まれる都市へ

ナノテラスの 測定事例を発信

NanoTerasuシェアリング2000や
トライアルユースで創出されたナノテラスの
測定事例を随時更新しています。

NanoTerasu シェアリング2000

2000時間枠で
イノベーションが湧く
わくわくする未来へ♪



リサーチ
コンプレックス



放射光施設の
活用事例



3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu(ナノテラス)の整備を契機として、研究コンプレックスの形成を推進

国内外の大学・研究機関や企業の研究開発部門が集積し、新たな価値創造の場となる「研究コンプレックス」の形成を推進しています。

都心部を中心とした市内の特定エリアに大学や研究機関、企業の研究開発拠点を集積することで、所属組織や分野を超えた研究者の交流をもとにイノベーションが次々と生まれ、産業基盤の発展や研究開発の国際競争力向上に寄与しながら、新たな産業技術を世界に向けて発信していくことを目指しています。

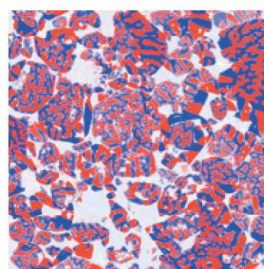
ナノの世界を可視化する “巨大な顕微鏡”の可能性

3GeV高輝度放射光施設NanoTerasu(ナノテラス)は、市内の東北大学青葉山キャンパスに整備され、令和6年4月より運用を開始しました。施設内部で発生させた極めて明るい光で物質を照らし、ナノ(10億分の1)メートルのレベルで物質の姿やそこで起きている現象を可視化します。活用分野は半導体・先端材料や電子デバイス、食品、創薬、エネルギーなど多岐に渡り、また基礎研究から産業分野での応用技術まで広く利用されていることから、様々な社会課題の解決への貢献も期待されています。

NanoTerasuが照らす未来を 身近に感じていただくために

市が保有するナノテラスの利用時間(年間2,000時間分)を全国の企業や公設試験研究機関が活用して測定を行う「NanoTerasuシェアリング2000」は、令和5年12月に開始して以来、様々な事業者に活用されています。

また、測定事例創出事業(トライアルユース)として、令和6年度は10事業者を公募で選定。ナノテラスを活用して自社製品の品質・生産性の向上に取り組んだ成果を国内の産学官金関係者に広く周知し、更なる利活用を促進していきます。



磁石内部のS極とN極の分布
PhoSiC/SRIS, Tohoku Univ.



高校生による測定の様子



企業版ふるさと納税（地方創生応援税制）とは？

国が認定した地方公共団体の地方創生プロジェクトに対して企業が寄附を行った場合に、法人関係税から税額控除する仕組みです。通常の地方公共団体への寄附における損金算入による軽減効果（寄附額の約3割）と合わせて、税額控除（寄附額の最大6割）により、最大で寄附額の約9割が軽減され、実質的な企業の負担が寄附額の約1割まで圧縮されます。



活用する
メリット

- 寄附額の最大約9割の軽減効果を活用しながら、地方創生を応援できます！
- 社会貢献や企業のPRをはじめとする事業展開につながります！



例 1,000万円寄附すると、最大約900万円の法人関係税が軽減

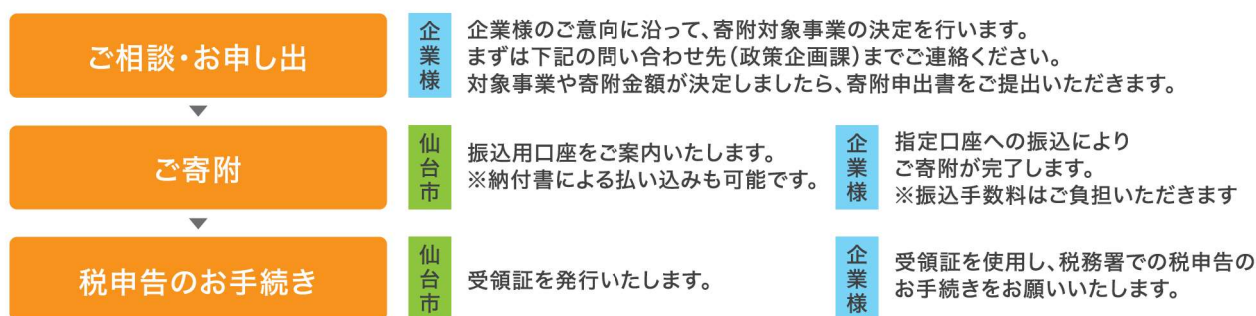
- ① **法人住民税** 寄附額の4割を税額控除（法人住民税法人税割額の20%が上限）
- ② **法人税** 法人住民税で4割に達しない場合、その残額を税額控除 ※ただし、寄附額の1割が限度（法人税額の5%が上限）
- ③ **法人事業税** 寄附額の2割を税額控除（法人事業税額の20%が上限）

税額控除の手続（申告）や算出に関しては、税理士や所管する税務署へご相談ください。

留意事項

- ・本制度を活用して仙台市へ寄附ができるのは、仙台市外に本社がある企業です。
- ・1回当たり10万円以上の寄附が対象です。
- ・寄附を行うことの代償として経済的な利益を受けることは禁止されています。

寄附の流れ



事業の詳細は
仙台市公式HPをご覧ください

<https://www.city.sendai.jp/machizukuri-kakuka/shise/kigyouban-hurusato/kigyoubanhurusato.html>



これまでご寄附いただいた企業様を
下記特設ページにてご紹介しております



令和3年度



令和4年度



令和5年度



令和6年度

問い合わせ先

仙台市まちづくり政策局
政策企画部政策企画課

〒980-8671 宮城県仙台市青葉区国分町三丁目7番1号
TEL / 022-214-1245 E-mail / mac001620@city.sendai.jp